

事案名	河内長野市の事案（大阪府27-1）
分類	発見・被災・掃海等処理情報 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「E T V特集」平成8年7月18日放送〔1〕 ・『毎日新聞』昭和23年8月23日〔2〕 ・『毎日新聞』昭和23年8月25日〔3〕 ・『毎日新聞』昭和23年9月1日〔4〕 ・『毎日新聞』昭和23年10月24日〔5〕 ・『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）平成15年10月9日〔6〕
資料内容概要	<p>大阪府南河内郡長野村（現河内長野市）の池において、昭和23年8月に、池に沈むドラム缶10数本が確認された。この池では、昭和20年8月20日前後、10数本のドラム缶が運ばれ、数本が池の中へ、また、数本が岸辺に、残りが松林に埋められたとされる。缶の内容物を流した用水路で魚を捕獲していた大人1名が死亡した事件が、同年9月に発生していた。昭和23年8月29日になり、缶を投棄した元軍人が判明、缶の内容物がイペリットとルイサイトと判明し、米軍が処理した。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・証言によれば、「大阪府長野町の池から住民が発見した缶を占領軍が検知したところイペリット缶であった」としている〔1〕。 ・昭和23年8月に、大阪府南河内郡長野村の池が異臭を放っているとの通報により警察が調査した結果、池にはドラム缶が10数本沈められているのを確認した〔2〕。 ・この池には、昭和20年8月20日前後に、堺市から輜重軍隊がトラックで10数本のドラム缶を運んできて、地元の警防団員に手伝わせて数本を池の北側の岸から池中へ投げ込み、また、数本を西側の池辺に埋め、残りの数本を南寄りの松林の中に埋没して立ち去った。同年9月に、付近の住民が池に浮かぶ缶の口をあけて内容物を堤防外の用水路に流したので、用水路で魚を捕獲していた大人1人と子ども2～3人が体に無数の水疱を発生し、大人は死亡したという事件が過去に発生していた〔3〕。 ・昭和23年8月29日になって、池に缶を投棄した元軍人が判明し、缶の内容物はイペリットとルイサイトと判明した〔4〕。同年10月に、米軍は池から全部の缶を引き揚げ、焼却・爆破・埋没等による処理を行ったとのことだが、松林まで搜索範囲としたか否かなどが記事では明示されていない〔5〕。

現在の状況

- ・池付近の地下水調査結果の点検を行ったところ、最近では周辺地区の平成13年度の測定結果があり、特に問題はなかった。池付近の松林については特定できなかった。堺市の輜重隊は当時堺市にあった輜重兵第4連隊のことと思われる（現在は警察学校等の敷地）〔6〕。